（様式７）　（排出事業者用）

令和５年　６月　１４日

長野県知事　様

令和４年度長野県産業廃棄物３Ｒ実践協定　実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物３Ｒ実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和　４年度から令和　６年度	
会　社　名	株式会社 関組	
住　　所	〒３９９－８３０２ 長野県安曇野市穂高北穂高２５３３	
代表者名	代表取締役 関 洋一	
業　　種	製造業　・　建設業（○）	
処理施設所在地（処理施設を有する場合）	施設名	所　在　地
担当部署		
担当者名	関 洋一	
連　絡　先	ＴＥＬ	0263-82-2503
	ＦＡＸ	0263-82-9528
	電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	sekigumi＠saturn.plala.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	http://www.	

１　総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和４年度 目標値	令和４年度 実績値	令和３年度 実績値	令和２年度 実績値
総排出量の推移 （t（○）・kg・m³）	901.00	884.24	988.47	1,644.82
ﾘｻｲｸﾙ量の推移 （t（○）・kg・m³）	900.00	884.24	987.87	1,644.47
売上高の推移 （円）	200,000,000	215,250,000	153,000,000	170,000,000

2　排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

1．　産業廃棄物処理責任者等を配置

　産業廃棄物総括責任者：代表取締役　関　洋一、土木工事産業廃棄物管理者：土木部長　高橋　正平

2．　処理を委託する処理業者（施設）の現地確認の実施(対象は中間処理場コンクリート、アスファルト、木くず）

・6月 23 日に土木工事産業廃棄物管理者が前年度の各委託実績処分場へ出向き、現地確認書に基づいて処理・リサイクル状況の確認を行った。

・現場ごと現場代理人が、委託契約締結時に現地確認書と変更等がないかの確認を行った。

3．リサイクル促進に向けた取組み

・材料納入業者には、簡易梱包納入の依頼を徹底した。

・各現場で廃棄物の分別を徹底する。発生した端材は極力再利用品として分別を行った。

・リサイクル製品、バイオマスプラスチック製品の使用促進。

・現場で発生した木くず(伐採木幹)は、薪等として各現場地域住民等の方へ提供を行った。

4．独自に取り組む事項

・各現場で、協力会社も含めたゴミ拾いを行い、廃棄物処理に対する意識の向上を図った。

・事務所、各現場では、備品や資機材はリサイクル製品やバイオマスプラスチック製品を購入した。
　コピー用紙は両面印刷や裏紙利用を徹底した。

・自社保有資機材を必ず確認してから資材を発注、購入、使用した。

・古紙、段ボール、金属類、ペットボトルは分別して市内に設置してある、資源物回収ボックスを利用しリサイクルを行った。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3　リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	令和４年度 目標値	令和４年度 実績値	令和３年度 実績値	令和２年度 実績値
再生砕石	100	100	100	100
再生アスファルト	100	100	100	100
全　体	100	100	100	100